

(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷

監視項目	測定・調査項目	調査範囲	調査点	2期供用開始後(H19.8)～		現行(R7.8時点)	
				調査頻度	実施期間	調査頻度	備考
騒音	航空機騒音	大阪湾沿岸地域及び飛行経路周辺地域	12地点(常時) (R7.3変更) 20数地点(定期) (R7.3変更)	常時観測	将来にわたり実施	常時観測 年1回程度	将来にわたり実施
	飛行経路・高度		数地点	年1回程度 (当年度年1～4回)	運用開始3年後まで	年1回程度 (H28.9変更)	平成29年度から当面の間
低周波音	航空機の低周波音	大阪湾沿岸地域	数地点			H24年度末で終了 (H25.8変更)	
大気質象	窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、 浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、 炭化水素(メタン・非メタン)、 風向・風速	空港島対岸部	1地点	常時測定	運用最大時の3年後まで	常時測定	運用最大時の3年後まで
	二酸化硫黄 窒素酸化物(二酸化窒素・一酸化窒素)、 浮遊粒子状物質、風向・風速		2地点			H22.7末で終了 中止(H22.3変更)	
水質	透明度 水温、塩分、pH、DO、COD、 T-N、T-P、7077/1/a、SS	空港島周辺海域	4点	年4回(四季)		H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、 着工前に速やかに内部水面海域(N1, N2, N3) において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点			年2回 (夏季、冬季)	
底質	泥温、強熱減量、粒度組成、pH、COD、 硫化物、T-N、T-P	空港島周辺海域	4点	年2回 (夏季、冬季)	運用開始3年後まで	H22.5調査で終了 (H22.3変更)	当面の間実施(R3.7変更) 北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、 着工前に速やかに内部水面海域(N1, N2, N3) において年4回(四季)で再開
		内部水面海域	3点	年4回(四季)		年2回 (夏季、冬季)	
海域生物	植物プランクトン	内部水面海域	2点	年4回(四季)		H22.5調査で休止 (H22.3変更)	北側連絡誘導路等の施設整備の実施が確定後、 着工前に速やかに内部水面海域(N1, N2)にお いて年4回(四季)で再開
	動物プランクトン	空港島周辺海域	4点			H22.5調査で終了 (H22.3変更)	
	底生生物	内部水面海域	3点			年2回 (夏季、冬季)	
	漁業生物	空港島周辺海域	4点			H22.5調査で終了 (H22.3変更)	
陸生動物 (鳥類)	鳥類の飛来・生息	1期及び2期空港島内	定点及び調査 ライン	年3回 (春季、夏季、秋季)	運用最大時の3年後まで	3年ごとに月1回	運用最大時及びその3年後まで (令和7年度より再開)
		空港島周辺海域	調査ライン	3年ごとに年4回		3年ごとに年4回	
	タカ類の渡り	タカ類の渡りのルート	1点	3年ごとに年1回		3年ごとに年1回	